



加茂のみなさんの願いを

おおがま智光さんに託してください 酒井弘一

市会議員（日本共産党）



加茂町のみなさん、酒井弘一です。市会議員を16年間務めさせていただき、たいへんお世話になりました。

私は、1971年泉川中学校で教師生活のスタートを切り、24年間、中学校教師を務めました。社会科教師として地域の歴史を学び、それを教材に生かして中学生たちに郷土の歴史を伝え、郷土に愛着を持って欲しいと心がけました。どの子も伸びる、全ての子どもたちに行き届いた教育を、そして教え子を再び戦場へ送るの思いで教壇に立ちました。1995年、阪神淡路大震災の直後に府会議員選挙に立候補し、多くの方々、特に保護者の皆さんや教え子のみなさんに励ましていただきました。2007年に加茂町、木津町、山城町の3町の合併直後の3月、初代の市会議員を選ぶ選挙がありました。私は、市会議員に立候補し、幸い2位で当選することができました。「一度酒井に議員バッジをつけさせてやりたい」との思いの市民がたくさんおられたのだと思います。

はつきりものを言い、しっかりと働くのが日本共産党の議員

以後、4期16年、教員出身の議員として子どもや保護者のみなさんの願いを市政に届け、実現をめざし力を尽くしてきました。

みなさんと力をあわせ、中学卒業までの医療費の拡充、幼・小・中学校の教室のエアコン設置、小中学校の洋式トイレの増設など実現することができました。

大仏鉄道の遺構保存を議会で取り上げ、保存・整備に道をひらき、今では、市内外から多くの方が訪ねてこられています。「郷土に愛着を持ってほしい」と呼びかけた教員経験が発揮できました。



■おおがま（大釜）智光プロフィール
党木津川市政策委員。1956年愛知県豊橋市生まれ、京都府立大文学部卒、元府立高校国語科教諭。防災士・一般社団法人水難学会認証指導員、元国交省木津川河川レンジャー。「安心の消防を求める会」呼びかけ人

住民のみなさんの思いや願いを聞き、相手が必要であればはつきりものを言い、しっかりと働く、これが日本共産党の議員です。
16年前の合併により、加茂町のすぐれた施策の切り捨てがはじまり、地域の衰退がおこっています。これに歯止めをかけ、物価高からくらしを守り、渦巻く市民の願いを実現する市政が求められています。

元府立高校教員、熱心な地域活動のおおがま智光さん

今回、おおがま智光さんにこの仕事を引き継いでいただきたいと思っています。大釜さんは、府立高校の教師を務め、退職後もやましろ里山の会、木津川河川レンジャーの一員として活躍され、防災士の資格も取得されています。また、学校体育館へのエアコン設置を求める請願の陳述、また議員定数を減らすことに反対する市議会の公聴人を務め、理路整然とした意見と非常に説得力のある語りで、関係者から高い評価を受けていました。すぐにみなさんのお役に立つ人です。加茂町のみなさん。これまで酒井に寄せていただいたご厚意を今度はおおがま智光さんへ寄せてください。酒井からバトンタッチさせてください。

ハッキリものを言い、しっかり働く 日本共産党の3議席

合併から16年。加茂では人口が80%となるなど「周辺」地域が疲弊。城山台など人口急増地では、日本有数の超マンモス小学校が生まれるなど、国いいなりで、民間優先の開発のツケが市民を直撃しています。現市政を支えてきたのが自民・公明・維新などの市長与党です。日本共産党は、この市政とキッパリ対決し、市民のいのち・くらしを守り、地域の振興に力を尽くしてきました。

市政 転換

対話でつなげる
対話でつくる

木津川市を

新しい女性市長で

みなさんと
ともに

新消防庁舎建設計画は 中止・見直し

木津西・山城消防署（出張所）の廃止に自治会や市民から不安の声が続出。50億円かかる計画は見直して安全な場所に移転、消防出張所は存続を。



城山台小学校の超マンモス校解消へ

市民のみなさんと分離・新設を目指し、超マンモス校の課題解消教育環境の改善に粘り強く取り組んでいます。

山城町神童子のメガソーラー建設 ストップ

議会で何度もとりあげ、太陽光発電設備条例を制定。山城町へのメガソーラー建設にストップをかけています。

キッパリ
対決

ガマンと負担を 押しつける市政NO！

現市政と与党 自民・公明・維新などと対決

保育園の民営化、統廃合、高の原幼稚園の閉園を強行。児童生徒の減少を理由に学校の統廃合を計画する現市政。

市民負担では、ごみ袋の有料化、下水道料金の20%値上げ。合併前は無料の山城福祉バスが200円、きのつバスは2010年に運賃を2倍にして乗客は54%に減少。

合併後、加茂では自校給食をなくし、プラネタリウム館や山の家、加茂体育館を廃止し、地域の衰退を招きました。

くらし・教育の願い実現

学校トイレの洋式化推進 給食費の据え置きが実現

洋式化を求める請願の採択に全力をあげ、子どもたちの声を繰り返し取り上げ、学校トイレの洋式化が進みました。物価高で給食の食材が高騰。給食費値上げではなく、高騰分の補助を市に要求、予算化され給食費は据え置かれています。少人数学級や放課後児童クラブの改善、学校トイレに生理用品の常備など実現に力をつくしています。

体育館・講堂へのエアコン 設置へ議会動かす

みなさんの署名2709筆がそえられた「子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境を守る請願」の採択に向け奮闘。市長与党が反対する中、子どもや保護者の切実な願いを反映した討論は議会を動かし、「体育館・講堂へのエアコン設置の計画を立てて」は採択され、議会の意思となりました。

多くの提案で
市政を動かす

コロナ対策で 13回の申し入れ

国保税が 据え置きに

コロナからいのち・くらし、営業を守るため、13回の申し入れを行うなど多くの提案。妊婦への10万円支給、感染症防止への物品購入など事業者支援、密をさけるため、学校の課外事業でのバス増車など実現。高すぎる国保税の引き下げを繰り返し求め、一般会計からの繰り入れで値上げをストップさせてきました。



木津川市から平和の声を

「核兵器禁止条約の発効に日本の役割を求める」請願の採択に尽力。「政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める」意見書を提案し可決されました。毎年、平和行進にも参加しています。戦争する国づくりにストップをかけ、木津川市から平和の声を広げるため全力をあげています。